

四季折々 奈良が紡ぐ多彩な魅力を

奈良まほろば館

2026
Oct.



待ちに待った柿の季節がやってきました！
柿の里・奈良から柿！柿！柿！

物販

柿のお菓子・食品が大集合

柿を使ったお菓子や加工食品など、さまざまな柿関連商品を取りそろえます。そのまま食べる柿とはひと味違う、多彩な味わいをお楽しみいただけます。

ご自宅用はもちろん、秋の贈り物やお土産にもおすすめです。



季節限定

カフェ

柿かき氷

10月1日(木)～

今年も柿かき氷の季節がやってきました。柿をふんだんに使用し、柿ならではのやさしい甘さと豊かな風味を楽しめる、季節限定の一品です。

この時期にしか味わえない秋のかき氷を、ぜひご賞味ください。



※写真はイメージです。

神鹿「奈良の鹿」をもっと知ろう。
知られざる鹿の伝統行事をご紹介します！



カフェ

鹿そうめん ～10月13日(火)

夏に大好評だった鹿そうめんが再登場！
角は新生姜・お鼻は奈良漬のキュートなそうめん！

イベントで期間限定販売します！



展示

迫力の「鹿の角きり」を紹介

9月26日(土)～10月13日(火)

11月に奈良公園で開催される伝統行事「鹿の角きり」に先駆け、その歴史や見どころを展示でご紹介します。人と鹿が共生する奈良で受け継がれてきた伝統を、迫力ある展示とともに身近に感じていただけます。

イベント

勢子に聞く「鹿の角きり」のお話

10月2日(金)19:00～ [要予約](#)

毎年「鹿の角きり」に勢子として参加されている弓倉さんをお招きし、行事の歴史や勢子の役割、当日の様子などをお話しいたします。普段はなかなか聞くことのできない貴重なお話を、皆さんで楽しく聞いてみませんか。

秋の奈良を彩る『正倉院展』。
その魅力を、もっと身近に。

販売期間 10月24日(土)～11月9日(月)



物販

正倉院グッズあつめました

宝物の文様や色彩をモチーフにした、華やかで趣のあるグッズを集めました。歴史を身近に感じられる品々は、ご自宅用にはもちろん、奈良らしいお土産や贈り物にもおすすめです。

秋の夜長に。穏やかな香りと
まろやかな味わいを楽しもう。

10月1日(木)～10月18日(日)

カフェでは奈良のひやおろし味わいセットも！



物販

カフェ

奈良のひやおろし大集合！

冬に仕込んだお酒をひと夏じっくりと熟成させ、秋に出荷される「ひやおろし」や、春から秋に向かうとともにまろやかになり魅力をもった「秋あがり」。奈良県内の酒蔵から、まろやかで深みのある味わいの銘柄を集めました。秋の味覚とともに、この季節ならではの奈良の地酒をお楽しみください。

第78回 正倉院展

— 1300年地上で守り伝えた宝物

今年も奈良国立博物館で正倉院展が開かれます。昭和21年(1946)に、現在と同様広く一般市民が参観できるようになってから今回で78回を数えます。東京で3回(昭和24年、34年、56年)行われています。

第1回展は、焼け野原に闇市が広がる時代に、約15万余の人々が全国から自前の米を携え、野宿覚悟で正倉院の宝物を一目見ようと奈良までやって来しました。そこには、宝物を目の当たりにすることで、敗戦で失った夢や誇り、自信を取り戻したいという切実な願いがあったともいわれています。

正倉院宝物の〈値打ち〉

では、そんな正倉院宝物の〈値打ち〉はどこにあるのでしょうか。聖

武天皇が身近に愛玩された8世紀日本の粋を集めた工芸品だから？シルクロードを経てきたペルシアや西域、唐で作られた逸品だから？

それぞれ間違いはありませんが、正倉院宝物の一番の〈値打ち〉は、光明皇后によって東大寺に献納(756)された聖武天皇遺愛の品をはじめとする約9000件の宝物が、約1300年もの間一度も土中に埋もれず焼損もせず、人の手によって、地上で守り伝えられてきた点にこそあります。

帝室博物館総長・森鷗外の詠嘆

例えば、平重衡の南都焼討

(1184)や三好松永の戦いに伴う戦火(1567)ではすぐ隣の大仏殿は全焼しました。しかし、い



白瑠璃瓶 (はくろりのへい、ガラスの水差し)
中倉 高27.2cm 胴径14.0cm

微かに淡い緑色を感じさせる透明なガラスの水差し。



紅牙撥鏤基子
(こうげばちるのきし、染め象牙の墓石)
北倉 径1.5~1.7cm 厚0.7~0.8cm
花叢鳥を表した象牙製の墓石。

ずれの時も一山の僧侶や住民が身を挺して正倉院宝庫への類焼を防いだと伝わります。鎌倉時代(1254)、落雷によって正倉の一部に、正倉院の歴史上唯一の火災が起きた時も同様でした。

晩年(1917)、帝室博物館総長に就任し正倉院の最高責任者となつた森鷗外は、これらの史実を踏まえ、正倉院を前にして「夢

の國燃ゆべきものの燃えぬ國木の校倉のとはに立つ國」(『奈良五十首』)と詠みました。

現在も、近隣の有志らでつくる「正倉院特設消防隊」が正倉院を火事から守っています。

校倉と唐櫃 — 宝物を守る二重の「箱」 —

径約60cmの丸太40本の上で地上2・7mの高さに支えられている校倉造の正倉院正倉は、最近の調査で、南海トラフ級の地震にも耐えられることが判明しました。しかしそれだけでは、あの繊細な宝

物を1300年にわたって守り続けることはできません。

宝物をさらに唐櫃(脚付で密閉度の高い覆せ蓋式の箱)に入れ、いわば大小二つの足付きの箱に納めることによって初めて、あの宝物を現代まで伝えることが可能だったのです。

正倉院展では宝物の由来に加えて、今私たちがそれを目にできている奇跡に思いを馳せてみてはいかがでしょう。

(K・N生)

第78回 正倉院展

2026年10月24日(土)~11月9日(月)

開館 午前8時~午後6時(金・土・日・祝日は午後8時)

※入館は閉店の60分前まで

奈良国立博物館

東西新館(奈良市登大路町50番地 奈良公園内)

正倉院展ホームページ <https://shosoin-ten.jp>

今年の出陳品(写真提供・宮内庁正倉院事務所)

展示・物販に関するお問い合わせはお電話で

奈良まほろば館

03-6263-9656

Shop 11:00~20:00

Cafe & Bar まほろ 11:00~19:30(L.O. 19:00)

〒105-0004 東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル1階

●JR新橋駅銀座口より徒歩約3分 ●東京メトロ銀座線新橋駅1番出口より徒歩約3分 ●東京メトロ銀座線銀座駅A1出口より徒歩約8分

奈良まほろば館ホームページ

<https://www.pref.nara.lg.jp/site/nara-mahoroba/index.html>

イベントの詳細は、ホームページで随時案内いたします。

まほろば館のSNSはこちら/
Facebook Instagram



イベントルームおよびレストランTOKiは、令和8年9月末をもって運営を終了いたしました。これまでご利用いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。
なお、1階ショップ・カフェは、今後も営業を継続する予定です。引き続きご愛顧のほど、よろしくお願いいたします。

奈良県事務所(移住相談) TEL 03-5212-9096

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館9階 平日(月曜~金曜)9:00~17:45<移住相談は9:15~17:30>

●東京メトロ有楽町線・半蔵門線「永田町駅」5番出口から徒歩約1分 ●東京メトロ南北線「永田町駅」9番b出口から徒歩約1分 ●東京メトロ丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」から徒歩約5分

奈良まほろば館奈良県事務所は、令和8年10月1日をもって左記住所へ移転いたしました。移転に伴い、電話番号も変更となりましたので、お知らせいたします。